

ELECTRIC GRAND

PCP-80



ver.2.50e2

for Kontakt5



ライセンス - 使用規約

すべてのサンプル、ファイル、データはプロミニー株式会社の所有です。製品の購入者は、本使用規約に同意し、かつ音楽演奏および製作または映像に関連する音楽制作における使用を目的とした前提により、製品を使用するライセンス（使用許可権）をプロミニー株式会社より与えられます。

このライセンスは本製品のデータを編集加工する、しないにかかわらず再販することを固く禁止します。またこのライセンス第三者に有料、無料にかかわらず転売または譲渡することも禁止します。またいかなる媒体（本製品がインストールされたコンピュータ、ハードディスク、DVD/CD ディスク、ブルーレイディスク、インターネットなどのあらゆる媒体）を介しての再販または譲渡も禁止します。

この製品を第三者から転売または譲渡を受けた者はプロミニー株式会社によるサポートを受ける権利は一切持たないものとします。プロミニー株式会社は転売または譲渡された製品のユーザー登録は受け付けません。転売を行った時点で元の所有者のライセンスは消滅し、ライセンスに関連する一切の権利は直ちに失効します。

本製品のインストールおよび本製品に含まれるデータの使用に起因するいかなる問題もすべて使用者の責任において処理されるものとし、プロミニー株式会社はそれに関し一切の責任を負わないものとします。

（この使用規約は予告なしに変更される場合があります）

Copyright © 2004-2015 Prominy Inc. All rights reserved.

All sounds created by and property of Prominy Inc.

必要環境

Mac OS X 10.8または10.9または10.10 (最新アップデート), Intel Core 2 Duo

Windows 7 または Windows 8 (最新Service Pack, 32/64-bit), Intel Core 2 Duo or AMD Athlon 64 X2

4GB RAM

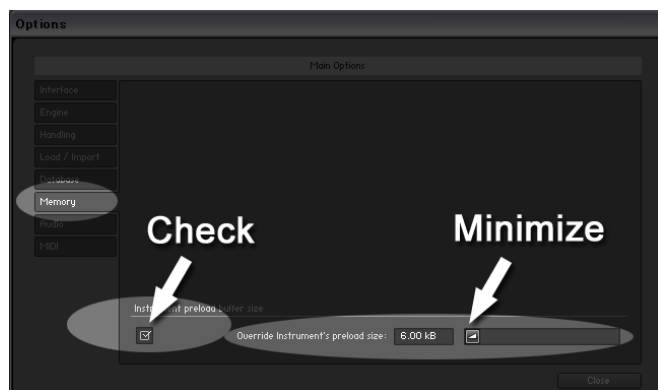
SUPPORTED INTERFACES

スタンドアローン, VST, Audio Units, ASIO, Core Audio, AAX Native (Pro Tools 10 またはそれ以上)

[重要] プリロード・バッファ・サイズの設定

マルチやインストゥルメントをロードする前に必ずpreload buffer sizeの確認を行ってください。

PCP-80はロード時に膨大な数のサンプルが読み込まれるため、まずKontaktのオプション画面でプリロードの設定を行うことをお勧めします。Kontaktのプリロードの初期設定はストリーミングの安定度を優先させるためにプリロードのサイズがかなり大きく設定されています。（通常の使用では大きすぎる値が設定されています。）数多くのサンプルを読み込む際に生じるメモリ不足を回避するためには、プリロードのサイズを小さくしなくてはなりません。



1. 'Options' ボタン

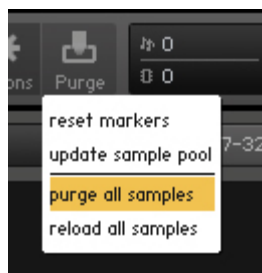


をクリックして 'Memory' のタブをクリックしてください。

2. チェックボックスにチェックを入れ、
'Override Instrument's preload size' の値を最小にするか、12kbにしてください。

上の写真では、'Override Instruments preload size' の値は6kbになっていますが、もしサンプルのストリーミングがスムーズに行われず音切れ等が発生するようであれば、値を12kbにしてください。最適な値はお使いのコンピュータの性能によって異なりますが、一般的には12kbのプリロードバッファがあればストリーミングは問題なく行われます。それでもまだストリーミングが追いつかず音切れする場合には必要に応じて値を大きくしてください。

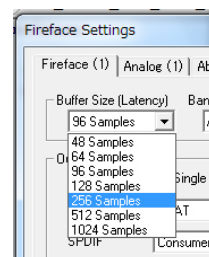
Purge All Samples



RAMを節約するもうひとつの有効な手段として、Kontakt / Kontakt Player 'purge all samples' という機能を使う方法もあります。マルチやインストゥルメントをロードした後に、'Purge' アイコンをクリックし、'purge all samples' を選択します。古いコンピュータでない限り、演奏時にKontakt PlayerはPurge機能に「よってメモリから除外されたサンプルを瞬時に読み込み、音切れすることなくストリーミングすることが期待できます。

インストゥルメントを使用時、打鍵時にノイズが発生する場合

もし打鍵時にノイズが発生する場合は、オーディオ・インターフェイスのレイテンシーの値を「大きく」してください。（Kontaktのオプションのpreload buffer sizeとは違い、「大きく」してください。）レイテンシーの変更に関する詳細はお使いのオーディオ・インターフェイスのマニュアルをご参照ください。



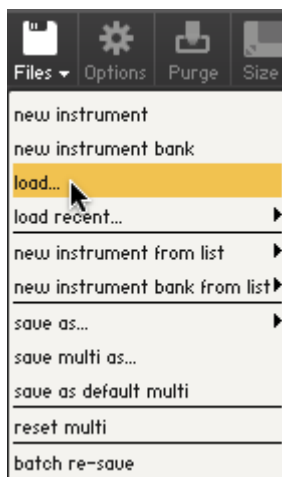
Kontakt へのロード方法

ファイル名:

ELECTRIC_GRAND_PCP-80.nki

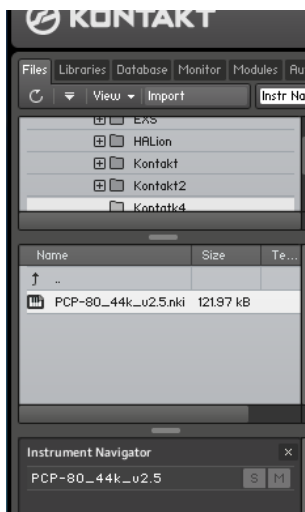
以下のうちのいずれかの方法でインストゥルメント (.nki ファイル)、「ELECTRIC_GRAND_PCP-80.nki」を選択してください。

「Files」メニューを使用する



Kontaktの画面上部の「Files」メニューのアイコンをクリックし、「load…」を選択後、PCP-80がインストールされているフォルダより「ELECTRIC_GRAND_PCP-80.nki」を指定してください。

Kontaktのブラウザ（「Files」タブ）を使用する



Kontaktの画面左上部分のブラウザの「Files」のタブをクリックし、PCP-80がインストールされているフォルダより「ELECTRIC_GRAND_PCP-80.nki」を指定してください。



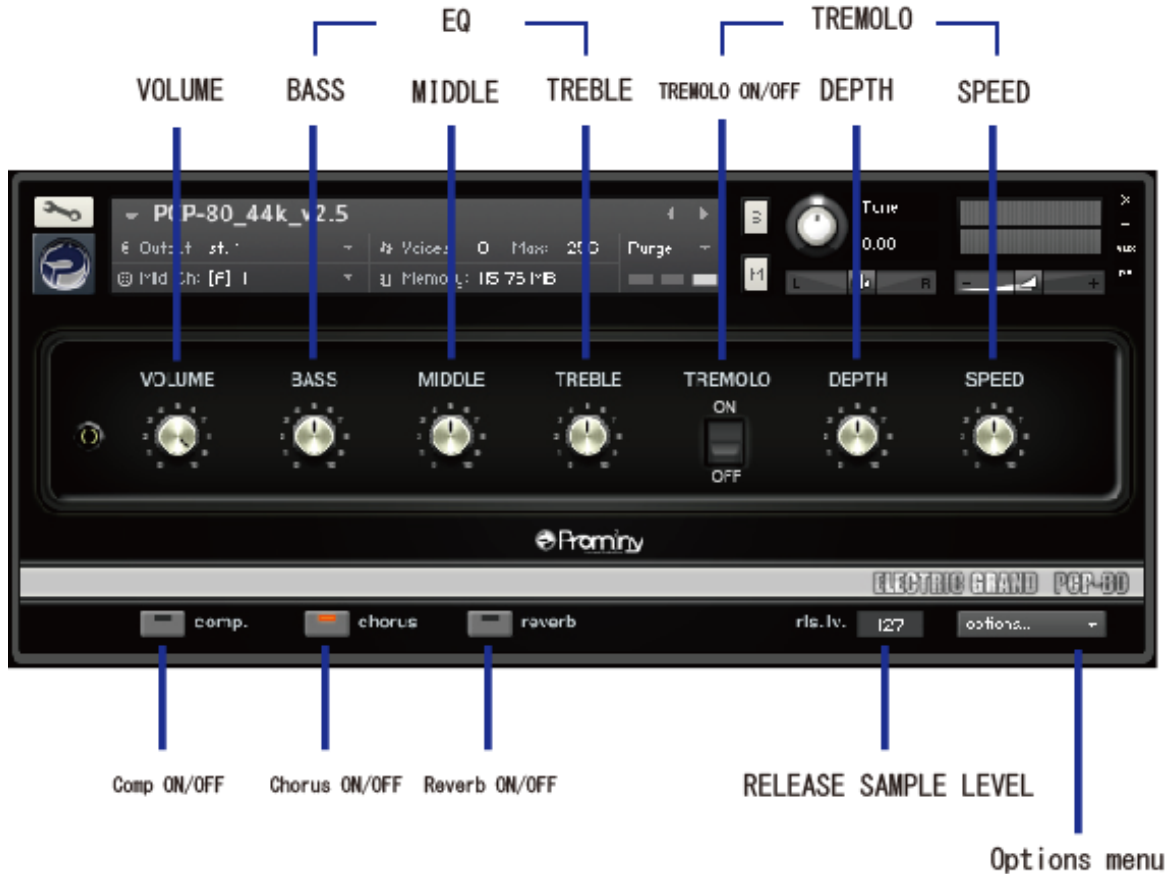
ブラウザが表示されていない場合はKontaktの画面上部の「Browse」アイコンをクリックするとブラウザが表示されます。

ドラッグ&ドロップ(スタンドアローン・モード時のみ)

.nki ファイルをKontaktのメイン・ウインドウの黒いエリア（ロードしたインストゥルメントが表示される場所）に直接ドラッグ&ドロップしてください。この方法はKontaktをスタンドアローン・モードで使用している時のみ有効です)

ELECTRIC GRAND PCP-80 Interface

メイン画面



VOLUME: PCP-80 全体の音量を調節します。MIDI CC# 7 でコントロールすることも可能です。

BASS / MIDDLE / TREBLE: 低域 (BASS)、中域 (MIDDLE)、高域 (TREBLE) の音のバランスを調節することができます。BASS は MIDI CC# 85、MIDDLE は MIDI CC# 86、TREBLE は CC# 87 でコントロールすることも可能です。

TREMOLO: トレモロ効果の ON / OFF を行うことができます。MIDI CC# 1 (モジュレーション・ホイール) でコントロールすることも可能です。

DEPTH: トレモロ効果の深さをコントロールすることができます。MIDI CC# 88 でコントロールすることも可能です。

SPEED: トレモロ効果のスピードを調節することができます。MIDI CC# 89 でコントロールすることも可能です。

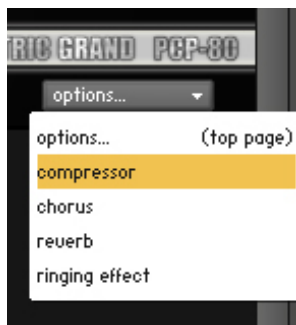
compressor: コンプレッサーの ON / OFF を行うことができます。MIDI CC# 61 でコントロールすることも可能です。

chorus: コーラスの ON / OFF を行うことができます。MIDI CC# 62 でコントロールすることも可能です。

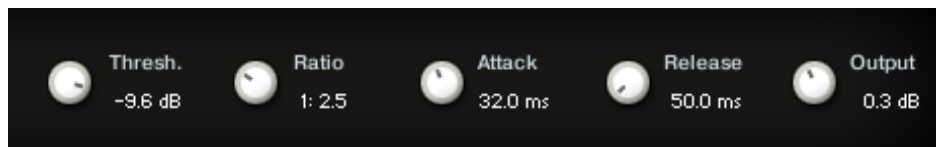
reverb: リバーブの ON / OFF を行うことができます。MIDI CC# 63 でコントロールすることも可能です。

rls. lv.: ノート・オフ時に鳴るリリース・サンプルの音量を調節します。MIDI CC# 90 でコントロールすることも可能です。

Compressor (コンプレッサー)



「Options…」メニューをクリックし、「compressor」を選択すると、このエフェクトの設定画面が表示されます。



Thresh: コンプレッサーが動作を開始するスレッシュールド・レベルを設定します。コンプレッサーで、このスレッシュールドを超えるレベルのみを下げるすることができます。スレッシュールドよりも下にあるシグナルは処理されません。MIDI CC# 102 でコントロールすることも可能です。

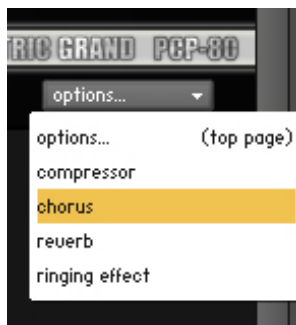
Ratio: 圧縮量を (インプットレベルに対するアウトプットベルの変更値を) 比率でコントロールします。MIDI CC# 103 でコントロールすることも可能です。

Attack: インプット・シグナルがスレッシュールド・レベルを超えてから、コンプレッサーが圧縮率の値に到達するのにかかる時間を調節します。MIDI CC# 104 でコントロールすることも可能です。

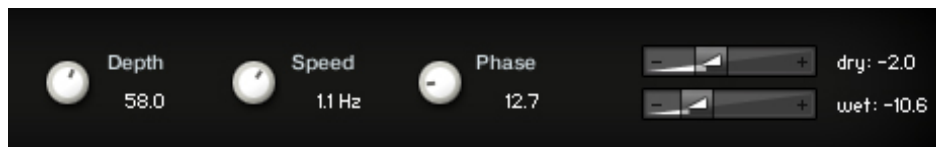
Release: インプット・シグナルがスレッシュールド・レベルを下回ってから、コンプレッサーが圧縮を止めるまでにかかる時間を調節します。MIDI CC# 105 でコントロールすることも可能です。

Output: モジュールのアウトプット・レベルを制御します。このノブはメイクアップ・ゲイン・コントロールとして動作するため、圧縮後に、アウトプット・シグナルをインプット・シグナルと同じピーク・レベルまで上げることができます。MIDI CC# 106 でコントロールすることも可能です。

Chorus (コーラス)



「Options…」メニューをクリックし、「chorus」を選択すると、このエフェクトの設定画面が表示されます。



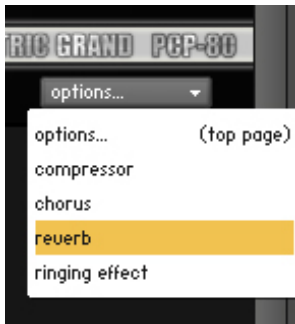
Depth: デチューンを調整します。高い設定値でコーラス効果が顕著になります。MIDI CC# 107 でコントロールすることも可能です。

Speed: LFO スピード（モジュレーションの速度）を調節します。MIDI CC# 108 でコントロールすることも可能です。

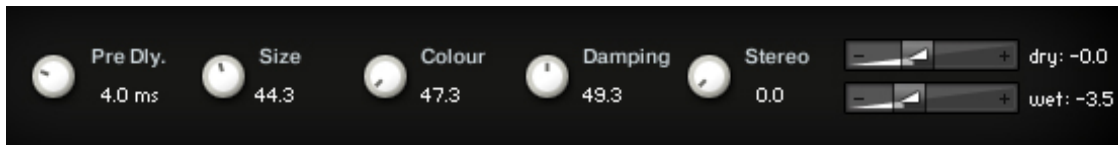
Phase (0 度から 90 度): 左右のステレオ・チャンネル間の LFO の位相差を伝えます。これにより、アウトプット・シグナルのステレオ・ベースの幅が著しく増える場合があります。MIDI CC# 109 でコントロールすることも可能です。

Dry / Wet: もともとのシグナルと、加工されたシグナルのそれぞれのレベルを調整します。MIDI CC# 110(Dry) および MIDI CC# 111(Wet) でコントロールすることも可能です。

Reverb (リバーブ)



「Options…」メニューをクリックし、「reverb」を選択すると、このエフェクトの設定画面が表示されます。



Pre-Dly.: 元々の音に対してリバーブ音が発生するまでの間に短いディレイをもたらします。MIDI CC# 112 でコントロールすることも可能です。

Size: シミュレートされた部屋のサイズを調整します。リバーブ音の持続時間に影響します。MIDI CC# 113 でコントロールすることも可能です。

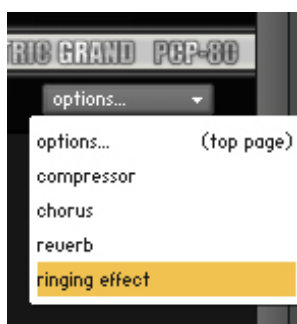
Colour: このコントロールにより、シミュレートされた部屋の構成材料とリバーブ音の色合いを調整することができます。値が低いと木材のような表面の柔らかいものをシミュレートし、値が高いとコンクリートのような表面の硬いものの反響動作をシミュレートします。MIDI CC# 114 でコントロールすることも可能です。

Damping: 反響動作に影響を与える家具、そこにいる人々などといったその部屋の環境によって生じる吸音効果の大きさを設定します。MIDI CC# 115 でコントロールすることも可能です。

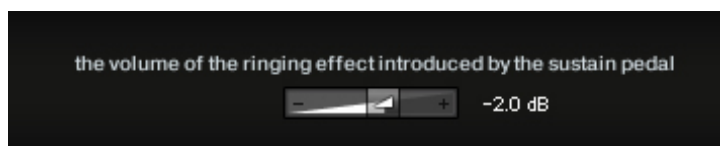
Stereo: 値を高くすると、アウトプット・シグナルのステレオ・ベースの幅が大きくなります。値を低くすると、音源に近い距離をシミュレートします。MIDI CC# 116 でコントロールすることも可能です。

Dry / Wet: もともとのシグナルと、加工されたシグナルのそれぞれのレベルを調整します。MIDI CC# 117(Dry) および MIDI CC# 118(Wet) でコントロールすることも可能です。

Ringing Effect (サステインペダル使用時の共鳴音)



「Options…」メニューをクリックし、「ringing effect」を選択すると、このエフェクトの設定画面が表示されます。



この機能は本物の CP-80 の演奏時、サステインペダルを使用した際に発生する弦の共鳴音をシミュレートします。このスライダーでその共鳴音の音量を調節することができます。MIDI CC# 117 (Dry) および MIDI CC# 119 (Wet) でコントロールすることも可能です。

ELECTRIC GRAND PCP-80 (for Kontakt 4) v.2.50e2

Written by AKIHITO OKAWA

(エフェクトの説明の一部に Kontakt Reference Manual から引用して変更を加えたものを使用しています)

June, 2015

Copyright © 2004 – 2015 Prominy, Inc / AKI Sound

All rights reserved



URL: <http://prominy.com>

Email: info@prominy.com